

伊敷中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和4年10月11日(火)18:00~18:50

場所:高齢者福祉センター伊敷

令和4年12月
鹿児島市 市民協働課

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	NPO法人がんサポートかごしま	<p>① NPO法人がんサポートかごしまでは、鹿児島県民総合保健センターの2階を利用してがん患者サロンを設置しているが、新たに空き家を活用し、がん患者サロン「がんサポHOME」を12月に開設する予定である。こちらについて、市に広報・周知を協力していただきたい。</p>	<p>① がんは特別な病気ではなく、多くの方が経験していく病気となるだろう。予防も大事だが、がんを経験した方が職場などに戻って活躍していく時に、周りに必要な理解など、啓発が重要になっていくと考える。</p> <p>「がんサポHOME」の広報等については、所管課の保健予防課にご相談いただきたい。同課の窓口や、10月のピンクリボン月間の啓発ブースなどで情報発信ができると考える。その他、医療用ウィッグの助成を利用する方など、特に必要としている方を対象に、情報提供を行っていきたい。</p>	健康福祉局	【健康福祉局】市長回答のとおり。
2	草牟田町内会	<p>② (1)鹿児島工業高校と鹿児島神社間の市道は非常に狭く離合できないため、個人の土地を使って離合している現状である。</p> <p>(2)旧聾学校跡地周辺は広がっているが、3号線沿いの南国殖産から旧聾学校跡地にいたる道路は、救急車両が通れないほど狭隘である。</p> <p>(3)3号線から杉之谷・城山方面へ抜ける市道は集落が密集しており、狭隘で朝夕は離合できず、周辺住民が困っている。新築された家は将来市道をつくることを想定して4mほど幅員をとっているため、離合できる場所として市道に編入していただきたい。</p> <p>以上、町内の3つの道路について拡幅していただきたい。</p>	<p>② (1)鹿児島工業高校そばの市道については、車両の通行に十分な幅員が確保されていないことから、土地を含めて、地元の皆さんの同意等、ご協力をいただければ対策を検討してまいりたいと考えており、まずは地域で話しあっていただきたい。</p> <p>(2)これまでに用地協力の得られた箇所について、交差点の隅切りを行っている。交通安全対策は重要であることから、今後も地元の協力をいただきながら、隅切りなどをはじめとする可能な対策に取り組んでまいりたい。</p> <p>(3)車両の通行に十分な幅員が確保されていない状況であるが、範囲が広いと、全部を広げることが難しい。道路反射鏡の設置などの交通安全対策について、可能な限り検討してまいりたい。</p>	建設局	【建設局】市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	城山団地 南部町内会	③ 市の職員が町内会に協力しない。町内会活動は個人の自由とはいえ、町内会が高齢化し、協力が必要である。市職員に対して町内会への加入するように、市長から呼びかけていただきたい。	③ 職員に対しては機会を捉えて、町内会への加入や地域活動への積極的な参加を強く要請している。特に若い職員には、これからの様々な課題解決のためには民間の方々の考えを知る必要があることから、町内会等で民間の方々と交流し、素養を高めるよう伝えているところである。 また、職員が退職する際にも、町内会活動へ積極的に参加し、これまで培った知識と経験を地域に還元してもらうよう呼びかけている。 その他、役員のなり手の確保も重要な課題であると考え、町内会の運営を効率化するために各町内会で共通する会費の徴収等の業務について、ITの活用を検討しているところである。	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
4	鹿児島女子高等学校 生徒徒会	④ 玉江小前の道路に信号がついていない横断歩道があり、左右を確認していない小学生と曲がり角から出てくる車両が接触しかけて危ないため、信号を設置するなどの安全対策を検討していただきたい。	④ 信号についての要望は、県警の所管になるため、鹿児島西警察署にお伝えする。女子高の皆さんから引き続き要望をあげていただきたい。	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	玉江校区 コミュニティ協議会	⑤ 全国でも町内会加入率が高い横浜市では、市への転入の手続きの際に窓口で町内会加入を強く指導していると聞いた。鹿児島市でも同様の取り組みをお願いしたい。	⑤ 町内会の加入率については、特に若い人の加入が向上に直結すると考える。 横浜市の事例をあげていただいたが、本市においても同様に、転入された方に対し、町内会加入を呼びかけるリーフレットを配布している。 その他にも、これまでの市長と語る会での意見を受けて、市内の町内会加入につながった好事例の紹介を始めている。また、今年度から若年層への加入促進を図るため、市のホームページに町内会区域図を公開するとともに、加入申込フォームを設け、デジタルを活用した取組を始めたところである。 伊敷支所管内の町内会加入率は他の地域に比べて突出して高い。地域の底力がある早い段階で、手立てを講じていきたい。	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
6	玉江校区 コミュニティ協議会	⑥ 「栄門つながるこのまち実行委員会」は地域活性を目的としたイベント「eimon park bazaar」を、近隣の学校の協力を得ながら、これまで3回開催しており、前回からはSDGsを意識して取り組んでいる。 そこで、市に「かごしまSDGs推進パートナー」認定団体として登録できるか確認したが、「税務署に開業届けしていないため認定できない」との回答だった。有志の任意団体には認定の道はないのか。	⑥ 本市では、「かごしまSDGs推進パートナー」として団体等を募集しており、このSDGsは、継続的に取り組んでいただくことが重要であると考えている。 その上で行政としては、団体の意思決定や集めた会費の使い方など、信頼性を担保していただくために、地域の団体であれば、NPO法人化などをご検討いただきたいと考えている。なお、NPO法人の認証について、県の所管になるので、そちらにお問い合わせいただきたい。 ご提言いただいたことについては、将来的な課題として、考えていきたい。	企画財政局 市民局	【企画財政局】 【市民局】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	城山団地南部町内会	<p>⑦ 信号機や横断歩道については、公安所管とのことだが、市道のセンターラインや路側帯、一時停止などの道路標示については市が所管である。</p> <p>草牟田小学校周辺の路面標示が薄れている。城山団地内の高齢化が進んでおり、夜は道路の路面標示がないとわからない。こうした整備について、定期的に行っているのだろうが、町内会から要望した箇所について、いつ頃復旧するのか教えていただきたい。</p> <p>事前に出した26箇所についても回答がないので、せめて市道はどんなふうに整備しているのか教えていただきたい。</p>	<p>⑦ 市道のセンターライン等の路面標示は市の所管である。路面標示が消えている箇所は市内全域にあるため、その中でも、特に交通量・通行量が多いところから、消え具合等に応じて順次復旧していきたいと考えている。</p> <p>また、調査状況についてはなるべくお示ししたいと考えており、予算の関係上、必ず今年度に復旧できるとは限らないというお返事になると思われるが、見直しをお示ししたい。</p>	建設局	<p>【建設局】</p> <p>市長回答のとおり。</p> <p>ご要望いただいた26箇所のうち、本市対応となる16箇所については、10月末時点で1箇所復旧済みであり、残る箇所についても令和4年度中もしくは令和5年度中に復旧を行ってまいりたい。</p> <p>なお、県公安委員会対応となる11箇所については、同委員会に復旧を要請したところである。</p>
8	NPO法人がんサポートかごしま	<p>⑧ 乳がん全摘手術後の患者が利用するパッドや補正用下着について、現在保険適用外になっており、患者の負担が大きい。県外他都市では医療用ウィッグと同様に助成している例があるので、県内で市が先駆けて導入していただくようお願いしたい。</p>	<p>⑧ まずは、需要がどれくらいあるのか、また、他の県・市の状況等を調査していきたい。</p>	健康福祉局	<p>【健康福祉局】</p> <p>市長回答のとおり。今後も、国や県、他都市の動向を注視してまいりたい。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	草牟田町内会	⑨ 来年で8.6水害から30年経つため、草牟田町内会では来年に向けてイベントを開催するなど行事を盛り上げ、認識を新たにしようとして取り組んでいるところである。ぜひ、市にも協力していただきたい。	⑨ 30年も経つと記憶が薄れていくこともあり、イベントを企画していただくことは大変ありがたい。普段から過ごす場所についてどれくらい危険性があるのか、いざという時にどのように行動したらよいのか考えていただくいい機会になるので、市としてもできる限り協力したい。	危機管理局	【危機管理局】 市長回答のとおり。
10	鹿児島女子高等学校生徒会	⑩ 聾学校や伊敷病院、玉里公園横の道路について、女子高の生徒だけでなく、玉江小、伊敷中の児童・生徒も利用している。交通量が多く、バスも朝夕通るが、歩道が狭く、車と自転車等の距離が近いと、危ないと感じている。 また、市営下伊敷住宅近くの複数の交差点について、見通しが悪いところがあり、曲がり角から急に出てくる車と、左右を確認せずに飛び出しをする小学生が接触しかけて危ないため、標識や注意書きのための看板など、交通安全対策をとっていただきたい。	⑩ ご提言いただいた道路については、家屋が密集していることから、道路拡幅は困難と考えている。 一方で、交通安全対策は重要であることから、その他の対策について、県警等の関係機関と協議してまいりたい。	危機管理局 建設局	【危機管理局】 【建設局】 市長回答のとおり。